

自己実現への道

第77回 - 第5章 「常に進歩をめざすところに生きがいがある」(その6)

★自分の心をデザインし直す

キリスト教の教えにより生まれた美しい芸術品は限りがない。彼らは「神は美の根源であり、美の創造者であり、砂漠に花を咲かせたのは神」と信じていた。神は我々の心に宿り、美しい心情を持った人間に作り変えてくださる。「美」への意識が我々に微笑みをもたらし、心に美しいアイデアや夢の花が咲くようになり、人生が驚くほど充実してくる・・・。

どんなに荒れ果てた人生でも、花咲く庭にかえることができるのだ。

不毛の砂地に毎日本水を撒いていたら、信じられないことに、ある日、草が生えてくる。

神(見えざる力)は美の根源であり、美の創造者である。私たちが自分の心をデザインし直し、飾り直せば、今居る場所で花を咲かせることができるのだ。

信念が増すにしたがって、心が美しくなり、容貌も変わってくる。

また、周囲の環境も「荒地が緑に変わる」ように美しく変貌するのだ。

★仕事の呼吸をのみこむ修練

「神は詳細図の中におられる。これはドイツの有名な建築家ミーエス・バン・デル・ロウエ氏の口癖だった。大きな建築物もその設計の段階では緻密な仕様書が必要であり、その細部にわたる細かな心配りが、美しく偉大な建築物を作り上げるのだ。

神は微小の世界にも住んでおられる。「美」はギリギリまで洗練し尽されたところに生まれる。

キャンバス上の人物の眼に小さな白い点がキラリと光るとき、微妙な趣が生まれる。微妙な一点を見逃してもいけないし、大げさすぎてもいけない。この呼吸をのみこむためには修練が必要である。細心であるべきことを忘れて、不用意に手を抜いてはいないだろうか？

人の仕事は、出来あがった製品、最終の仕上がり、完成した技能に焦点を合わせて評価される。

成功かどうかは細部の綿密な仕上がりにかかっている。

「信念が増してくると、見えざる力は自分の生活の全てを知っており、あらゆる点で間違いを指摘してくれ、あらゆるものを準備してくれることに驚くであろう。心から信じて、全力を尽くせば、ちょうど時間に間に合うように、すべてのことが立派にできあがるのだ」

<MIKO>

📖 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より